

第5章 環境教育

第1節 環境教育及び啓発事業の推進

1. 環境学習センターの取り組み

四日市市環境学習センターは、平成8年8月1日、子どもから大人までを対象に、日常生活と環境の関わりについての理解を深め、環境に配慮した行動のとれる人の育成を自的に開館した。市民が自主的に、楽しく環境の学習ができる拠点施設となることを目指して、平成11年度は次のような事業展開を行った。

1. 普及啓発事業

(1) 移動環境セミナー

平成8、9年度は環境学習センターにおいて、市民対象の「地球環境セミナー」「四日市の自然環境セミナー」「生活環境セミナー」を開催した。しかし、より多くの市民に情報や学習の機会を提供するためには、各地域に密着した内容・運営を取り入れなければ今以上の効果が期待できないとの指摘もあった。そこで、平成10年度からは、地区市民センター及び地域環境リーダーの協力を得ながら、主に地区市民センターを会場としてセミナーを開催している。平成11年度のセミナーは次のとおりです。

(第5章 表1)

	開催日時	開催地区	テーマ	講師
①	7/15(木) 14時30分～16時00分	神前地区	ごみ3原則とごみ減量	日下部茂世
②	7/21(土) 19時30分～21時00分	下野地区	ごみの分別モデル地区を目指して	河原茂樹
③	10/8(金) 13時30分～15時00分	八郷地区	ダイオキシンについて	中森立郎
④	10/20(水) 14時00分～16時00分	塩浜地区	ごみ出しについて	日下部茂世
⑤	10/26(火) 19時00分～21時00分	三重地区	ごみ問題をもう一度考える…分別	日下部茂世
⑥	11/20(土) 19時00分～20時30分	大矢知地区	これからのごみ減量とリサイクル活動	河原茂樹
⑦	11/30(火) 19時00分～20時30分	桜地区	ごみ減量について	日下部茂世
⑧	12/11(土) 13時30分～15時30分	日永地区	食品に起因する健康被害の防止	佐藤和彦
⑨	1/18(火) 19時00分～20時30分	三重地区	ダイオキシンについて	中森立郎
⑩	2/12(土) 14時00分～15時30分	海蔵地区	食品に起因する健康被害の防止	佐藤和彦

(2) かんきょう探検

将来を担う子どもの自然環境保全の意識を高めることを目的に、小学生を対象として自然観察会を3回開催した。(第5章 表2)

開催日時	テーマ(場所)	講師
4/24(土) 10時～15時	春の自然と遊ぼう(ふれあい牧場、少年自然の家)	村井俊郎
6/26(土) 9時～14時35分	干潟に棲む魚たちや野鳥、植物の観察(高松海岸)	木村裕之
11/27(土) 9時30分～15時30分	四郷丘陵の自然観察とネイチャーゲーム(四郷丘陵一帯)	伊達伝司

(3) 環境ビデオ上映会

環境問題への関心を高めるために、小学生から一般成人を対象にビデオの上映を行いました。いずれも土曜日「10時～」と「14時～」の2回約1時間上映(第5章 表2)

開催日	テ ー マ
7/10	フリッパーシリーズ「巨大サメ来襲」「失われた楽園」
7/31	フリッパーシリーズ「マイアミ救出作戦」「連続強盗事件発生」
8/28	フリッパーシリーズ「首飾りの神秘」「マーメイド～フロリダの幻」
2/12	「追跡！台所ごみ、どこが問題か・・・」「美しき海の神秘1」
2/26	「家庭でできる生ごみリサイクル」「美しき海の神秘2」
3/18	「エコクッキングからはじめよう」「狩蜂！やさしい母さん」

(4) 夏休み自由研究相談室

「夏休みの自由研究の仕方教室」「正しい名前調べや観察のまとめ方教室」の別々に実施していた事業を平成11年度から、「夏休み自由研究相談室」として統合し、平成11年度は、7月17日及び8月21日の2回開催し、昆虫、植物、岩石、魚介、天文などの分野に分かれて、四日市自然保護推進委員会の先生方が小中学生を対象にアドバイスした。

(5) リサイクル工作教室？

子どもたちに、リサイクルの大切さの理解を広げることを目的として、牛乳パックを利用したおもちゃ作りの講座を開催した。(第5章 表3)

開催日	テーマ	講 師
1/23	「手作りはがき」	学習センター職員

(6) 動く自然教室「海岸・干潟・森の自然をたずねて」

5月30日(日)9時～15時30分(三重郡川越町、菰野町)

自然環境の保全意識の高揚を図るため、市民を対象にバスによる移動観察会を実施した。

(7) 水生生物調査

水生生物を調べることによって河川の水質判定を行うとともに、自然環境保護思想の普及・啓発をはかるため、水生生物調査指導員の協力を得て、内部川、海蔵川、天白川において延べ4回の水生生物調査を実施しました。

2. 人材育成事業

市民一人ひとりの環境保全意識を高め、環境に配慮した行動が取れるように誘導するとともに、書来的に地域における環境学習のリーダーとして活動できる人材の発掘

と育成を目的として、基礎編及び応用編を開催した。また、市内の小中学校教員を対象とした教員編を開催しました。

また、今までの講座修了者を対象に、フォローアップ研修会を3回開催した。

(1) 地域環境リーダー養成講座(対象:市内在住の成人)

地域環境リーダー養成講座基礎編(第5章 表3)

開催日時	テーマ(場所)	講師
5/18(火)10時～16時30分	アイスブレイキング、四日市の環境(講義) 四日市の自然(体験学習)	藤村コノエ・市職員 村井俊郎・桐生定巳
6/12(土)10時～12時	循環社会創造に向けて(講義)	加藤三郎
7/6(火)10時～16時30分	消費生活と環境問題(講義) いるものいないもの(実技・討議)	吉村哲彦 藤村コノエ
7/27(火)10時～16時	エコライフのジレンマと実践	藤村コノエ

地域環境リーダー養成講座応用編(第5章 表3)

開催日時	テーマ(場所)	講師
5/19(火)10時～15時30分	街並みウォッチング(体験学習)	藤村コノエ
6/12(土)10時～16時	環境概論(講義) 温暖化防止の具体的な方法(実技・討議)	加藤三郎 藤村コノエ
7/7(水)10時～16時	日本の農業・食料の実態を学び今後の方向性を学ぶ 農地の開発の環境問題	内藤正明 市職員
7/29(木)10時～16時	地域の環境学習プログラムを作ろう	藤村コノエ

地域環境リーダー養成講座教員編(第5章 表4)

開催日時	テーマ(場所)	講師
6/12(火)10時～12時	環境概論(講義)	加藤三郎
7/28(水)10時～16時	環境教育・学習(講義)体験型環境学習	藤村コノエ
7/29(金)10時～16時	地域の環境学習プログラムを作ろう	藤村コノエ

地域環境リーダーフォローアップ研修会(第5章 表4)

開催日時	テーマ(場所)	講師
10/7(木)	三重県環境学習情報センター見学	
12/10(金)	里山と野鳥	木村京子
2/10(木)	今、求められる環境学習とは	藤村コノエ
2/27(日)	少年自然の家敷地内間伐 自然観察会	若林修三

3. 研修事業

(1) 小中学校等の社会見学の受入れ

市内小学校5校268名、市外小学校2校81名、市内中学校2校20名の見学者があった。

(2) ICETT 研修員、視察等の受入れ

ICETT 外国人 4 件 43 名の研修、市内機関 5 件 19 名、県外機関 5 件 19 名の研修または視察を受け入れた。

4. 交流・活動支援事業

(1) こどもエコクラブ支援事業

今年度のこどもエコクラブは、20 クラブ 302 名の登録があり、地方事務局（コーディネーター）としての業務の他に次のような支援業務を行った。

- ・こどもエコクラブ発足式の開催（5月8日、39名参加）
- ・こどもエコクラブ交流会の開催（8月4日、30名参加）
- ・こどもエコクラブ修了式の開催（3月29日、43名参加）

(2) 環境保全活動に関する相談業務

環境教育に関する相談、地区市民センターや民間の環境保全グループからの相談、水生生物観察会の指導、学習会への講師紹介、見学者の受入れ等を行った。

5. 情報提供事業

(1) 環境情報誌『エコステージ』の発刊

地域環境リーダーの自主活動の一環として、有志 7 名の編集委員の編集したエコステージ第 4 号を発行した。

(2) 『かんきょうニュース』の発刊

環境学習センターの機関紙として『かんきょうニュース』を隔月で発行した。

(3) 図書・ビデオの貸し出し

図書 554 冊、ビデオ 324 本の貸し出しがあった。

(4) 環境に関する問い合わせ

2. 環境保全課の取り組み

1. 環境月間行事

(1) 「四日市のかんきょう」の作成

四日市の公害の歴史や現状について正しく知り、考えるための千引書として、A4 版 16 ページの小冊子を 5,000 部作成し、市内の小学 5 年生全員に配付するとともに、市内中学校に各 2 部配付した。

(2) 「広報よっかいち」への特集ページの掲載

「広報よっかいち」6 月上旬号に、地球環境に配慮したライフスタイルを身近なところから見直してもらえよう環境保全意識の高揚を図った。

2. 夏休み子ども環境教室

夏休み期間中、小学 5、6 年生を対象に、子どもたちの環境意識を高めるための学習会を実施した。

平成 11 年 7 月 30 日（金）於：環境学習センター（41 名）

内容 リサイクルについて
 NO₂フィルターバジテストと大気のごみについて
 廃食油で石鹸づくり
 環境クイズ
 企業見学（昭和四日市石油）